

田中地区運動会



●当日は天気に恵まれ、暑い中、運動会が行われました。当日参加も含めて、44名の子供たちが参加し、長縄跳びは、当日も低学年・高学年共に練習をして本番に臨みました。結果は残せませんでしたが、みんな、よくがんばったと思います。(子ども会会長 松田 桃子)

●10月1日(日)に田中地区運動会が開催されました。当日は天候に恵まれ14町会が参加し盛大に開催されました。田中地区運動会は今回で56回、なんと56年も続いている伝統ある大会です。

自治会では運動会参加に向け、競技参加者を子ども会と並行し回覧で募集しました。当初一般の参加者の応募が少なく定員割れの種目がかかりありましたが、子ども会役員のご協力及び当日来場者の競技参加募集により運動会に臨みました。競技種目は、町会対抗競技・一般参加競技、一般+子供参加競技、子供参加競技、来賓参加競技と誰もが参加できるように工夫されていました。あいにく町会対抗では健闘むなしく12位と不本意な結果でしたが、皆さん楽しく競技に参加していました。又、参加された皆さんが怪我無く無事に大会を終えたことが何よりでした。来年は少しでも順位が上がるよう頑張ります。

(秋冬事業部長 森本 徹)

●今回の運動会では、我々、協議会の面々は裏方として前日及び当日朝6時半に集合し、テントの組み立て、ライン引き、賞品の搬入等を行いました。競技は20種目にわたり、熱戦が繰り広げられました。多くの競技で大人も子供も一緒になって楽しんでいました。又、綱引き等町会対抗の競技は、各町会の面子もあり熱戦が繰り広げられ、大変盛り上がりしました。最終的には団体戦では船戸町会が優勝し優勝しました。当ビレジ自治会は大健闘にも拘らず、参加14町会のうち、残念ながら12位で終わりました。来年は一桁台に入るよう頑張ります。競技に参加された皆様、本当にお疲れさまでした。(ふるさと協議会 水島 祐治)



柏ビレジ自治会の個人情報管理について



10数年前、会社にお勤めだった方の中には、毎年更新されていた社員名簿が突然廃止になったというような経験をお持ちの方がおられるのではないのでしょうか。それは平成15年5月に個人情報保護法が制定されたことに伴って、社員の個人情報管理を厳しくする必要があったせいかもしれません。

制定当時の保護法は5千人以上の個人情報(社員だけでなく顧客情報なども含む)を保有している事業者が対象でしたから、保有している個人情報の数がそれ以下なら法的な規制は受けませんでした。しかし、今年の5月に改正保護法が施行され、保有している個人情報が5千人以下であっても規制を受けることになりました。(但し、対象は事業者であって、個人が法の規制を受けるわけではありません。)

ところで、ここでいう事業者にはビレジ自治会のような団体も含まれます。しかも、自治会は約1,600世帯の会員の皆さんの個人情報を持っていますので、当然改正保護法の適用を受けるわけです。このため、自治会では前回の総会で「柏ビレジ自治会 個人情報取扱方法」という要綱を制定し、会員の個人情報についてその取得・利用・管理・提供の方法等を定めました。この要綱を運用するに当たって、場合によっては会員の皆さまにご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、上記のような保護法の変遷をご理解いただき、今後とも自治会の活動にご協力いただきますようお願いいたします。(総務部長 三池 孝道)

秋のクリーンデーを終えて



今年は11月中旬以降寒さが厳しく冬本番の様な日々が続きましたが、11月26日は寒さも和らぎ、穏やかなこの時期らしい気候の中で秋のクリーンデーが実施されました。

毎年秋のクリーンデーは大量の落ち葉の収集で大変ですが、今年は柏市による街路樹の伐採が進み、プラタナス並木は伐採が終わりイチヨウ並木も9割以上伐採が終わっている中での実施でしたので、昨年1,005袋だったゴミ袋は今年は482袋でした。3~4歳のお子様がお母様と一緒に落ち葉を集めて一生懸命にごみ集積所に運んで行く微笑ましい様子も見られました。その他のゴミ(可燃ごみ、ビン、缶、PETボトル類)は春のクリーンデー同様ほとんど落ちておらず住民の皆様の日頃の意識の高さを改めて感じました。

今回ご参加いただいた皆様、朝早くからお疲れ様でした。皆様のおかげで幹線道路もすっきり致しました。参加人数は342名となり前年を上回っております。本当にありがとうございます。また今回都合が悪くご参加いただけなかった皆様、来年のクリーンデーにはぜひご参加ください。

(環境部長 芳之内 荘平)

防災訓練の実施について



11月23日(木/祭日)、前日夜からの雨が降り続き、てっきり12月3日(日)に順延と思われましたが、竹田会長の苦渋の決断の元、雨の降り続く中、防災訓練が実施され60名の参加を頂きました。

午前7時30分、竹田会長からの「震度6強の地震が発生した」との想定で、役員連絡網による伝達が行われました。9時35分には消防署車両が到着し、9時50分から本部無線機と各支部長の交信による避難訓練を開始、その後、全支部の参加者が近隣公園に集結しました。当日雨のため支部間の参加者にはばらつきが散見されました。

本来、水消火器による初期消火訓練、119番通報訓練、煙体験、起震車体験、AED訓練を体験することになっていましたが、雨のため、柏市西部消防署たなか分署、小林さん及び隊員の皆様の協力の下、テント内からの水消火訓練と自治会館内でのAED訓練が集中して実施され、特に隊員の方からは、災害の恐ろしさ、防災の大切さ、重要性について貴重な話を頂きました。119番通報については、通報確認の際のポイントについての説明がありました。また、AED、人工呼吸、心肺蘇生法については、参加者の関心が非常に高く、真剣に話を聞いておりました。体験も数多く実施され、質問も数多く出され、防災に対する意識・関心の高さが伺われました。その後、自治会館内にてアルソック社の防災用品の説明が行われた後に緊急水源、防災用水源である「ビレジの泉」に移動し、防災井戸の管理と機器について説明が行われました。災害時に一番関心のある水についての説明に参加者は真剣に聞き入っていました。最後に、自治会館内で事務所付近が火元と想定し、2班に別れ自主防災避難訓練を実施しました。いつ起こるかかわからない災害だからこそ、常に備えは必要です。雨の中の防災訓練に参加して強く感じました。災害は良い環境時に起こるとは限りません。常に意識をもって、「助かる人、助ける人」になるようではありませんか!! (防災部 吉川 光男)

般若心経に思う

柏ビレジクリニック院長 遠藤 久人



毎日30分の早朝の散歩を心がけています。体調、心の調整には役に立っていると思っています。小雨降る朝、白い壁に見事な紫の朝顔の花を見ました。名前を調べると琉球朝顔のようです。朝の散歩は、色々な事を考えさせられます。

残された人生も目の前となり、生老病死を考える時期に来ているような気がして、最近、般若心経を暗唱してみました。般若心経は、267文字でコンパクトにまとめられていますが、この真髄は最初の25文字(観自在菩薩行深般若波羅見時照見五蘊皆空度一切苦厄)にまとめられています。大雑把に申しあげますと、「真実の世界においては、形作っているもの(人間、物質)も、肉体で感じることもなく、思うことを知ることもなく、全て存在しない。したがって、この世界では老いるということも死ぬということもないままに、老いも死も尽き果てない。苦しみなどない。」ということになります。琉球朝顔は人を楽しませる為に美しく咲いているわけではなく、唯、芽を出し成長し、咲き誇り、やがて枯れ散っていく自然の理に従っているのみなのです。人間の生も死も人間の作り出した概念であり、自然の理であるとすると悲しみも寂しさも存在しない空に浮かぶ浮雲のようなものなのです。

さて、今回は、在宅医療の話をしてみたいと思います。数ヶ月前に在宅医療の依頼があり、認知症の97歳のお祖母ちゃん、時折、誤嚥を繰り返し、肺炎を併発していました。ところで、このお祖母ちゃんには口癖がありました。誰が来てもいつも微笑みを浮かべ、「ありがとう御座います」と言うのです。私はこの人は悟りを得ていると感じました。きっと彼女は、心の平安を保ち、家族、周囲の人々に慕われ感謝された人生であったと思えました。

ところが、さあどうでしょう。私は延命処置とし鼻腔栄養を開始しようとして鼻から管を入れようとした。振り返ると家族全員が涙でいっぱいになっていました。私は、自然に反した行動をしていると感じ、直ぐに治療を中止しました。家族は、お祖母ちゃんの苦しみをみるに耐えられなかったのだと思いました。中止して帰り際に、お祖母ちゃんが小さい声で何かささやいた様な気がしました。後で看護婦さんに聞くと「喧嘩しないでね」と言っていたとの事でした。家族が泣いていましたので「喧嘩をしている」と考え、論じたのでしょうか。その後、お祖母ちゃんは数日してお亡くなりになられました。最後まで、周囲に気を使い、家族、周囲の人への感謝の気持ちを持ち続けた人であったのでしょうか。幸福な人生であったに違いありません。



さて、「最後は住み慣れた自宅と願う人」は56%もいらっしゃいます。現在はまだ病院との連携もあり、在宅での看取りも、訪問介護、訪問看護、少子高齢化、老老介護と困難な状況は山積しており、在宅医療を広めるには限度があります。また、介護については、家族だけで行うのは大変困難であるため「介護は社会全体」とのスローガンのもと介護保険が成立し、少しずつ軌道に乗っています。取りあえずは介護保険の申請が必要となりますが、これは近隣センターで可能です。介護のケアプランの作成等、特別養護老人ホーム、小規模多機能介護施設デイサービス、ショートステイ等を上手に組み合わせ、在宅介護の利用をお勧めします。また、その他にも地域の困りごとがあれば、地域包括支援センターを利用することができます。

最後になりますが、私は、あのお祖母ちゃんのように「ありがとう」を口癖にすることができれば、心の安堵、迷いの無い心を得ることが出来るのではないかと思います。

また、般若心経も毎日念じていけば、何時の日かその意味を理解できるような気がしています。